

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公開番号】特開2007-133391(P2007-133391A)

【公開日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2007-020

【出願番号】特願2006-279702(P2006-279702)

【国際特許分類】

G 03 G 9/087 (2006.01)

C 08 L 67/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/08 3 3 1

C 08 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月30日(2009.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

酸またはアルコールと反応しうる官能基(f)と炭素数30以上の直鎖アルキル基(r)とを有する化合物(X)を0.5~5質量%含有するポリエステル樹脂(P)を含有するトナー用バインダー樹脂であって、樹脂厚50μmにおける波長400~800nmの領域での光線透過率が全領域で90%以上であるトナー用バインダー樹脂。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

酸またはアルコールと反応しうる官能基(f)と炭素数30以上の直鎖アルキル基(r)とを有する化合物(X)の存在下で、
(A)酸成分(ただし、化合物(X)は除く。)100モル部、および
(B)アルコール成分(ただし、化合物(X)は除く。)105~150モル部を重合して、請求項1記載のトナー用バインダー樹脂を製造する方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、酸またはアルコールと反応しうる官能基(f)と炭素数30以上の直鎖アルキル基(r)とを有する化合物(X)を0.5~5質量%含有するポリエステル樹脂(P)を含有するトナー用バインダー樹脂であって、樹脂厚50μmにおける波長400~800nmの領域での光線透過率が全領域で90%以上であるトナー用バインダー樹脂に関するものであり、

また、酸またはアルコールと反応しうる官能基(f)と炭素数30以上の直鎖アルキル

基(r)とを有する化合物(X)の存在下で、

(A)酸成分(ただし、化合物(X)は除く。)100モル部、および

(B)アルコール成分(ただし、化合物(X)は除く。)105~150モル部を重合して、トナー用バインダー樹脂を製造する方法に関するものであり、

このトナー用バインダー樹脂を含有するトナーに関するものである。